



東北復興水産加工品 展示商談会2023

～ 繋がる・繋げるリアル・オンライン商談会 ～

出展募集のご案内

復興水産加工業販路回復促進センターでは、三陸・常磐の復興、ならびに販路開拓・情報発信の拡大を図るべく、「東北復興水産加工品展示商談会2023」を福島県で初開催します。

「～繋がる・繋げるリアル・オンライン商談会～」をテーマに、“リアル展示商談会”と“オンライン商談会”の双方のメリットを活かし、水産物に関心をもつ全国各地の食品バイヤーへ向け、独自の製法・味・技術で製造したこだわり商品、地域ブランド、トレンドアイテム等、三陸・常磐の魅力が詰まった水産加工品等を発信して参ります。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

出展形態

リアル展示商談会



対面によるバイヤーとの
ブース対談・個別商談により、
コミュニケーションを重視した
商談が可能。

2023年 **9月26日** 火 - **9月27日** 水
10:00～16:00 9:30～16:00

実施
期間

出展形態

オンライン商談会



オンラインツールを用いた
バイヤーとの個別商談により、
いつでも・どこでも参加が
可能。

2023年 **8月21日** 月 - **11月30日** 木

ブース出展、対面による個別商談
展示会場／ビッグパレットふくしま(福島県郡山市)

商談
方法

オンラインによる個別商談
オンラインツール(Zoom)

※Zoom以外のツールをご希望の場合は、運営事務局までご相談ください。

無 料

※出展に係る旅費、交通費、オプションレンタル代はご負担ください。

参加
費用

無 料

※商談時のインターネット環境は、ご自身でのご準備をお願いします。

- ☒ 試食を交えた対面商談で会社・商品の良さが伝わりやすい
- ☒ 食品バイヤーの新規開拓や認知向上につながりやすい

メリ
ット

- ☒ 日本全国のバイヤーとの商談機会が持てる
- ☒ ご自身の都合や目的に合わせた多様な商談形態

出展対象

青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県及び千葉県の水産加工事業者等、130社程度
※応募多数の場合は、商品ジャンルを鑑み、出展調整を行う場合がございますので、あらかじめご了承ください。

申込期限

2023年 **3月31日** 金

主 催 復興水産加工業販路回復促進センター

【構成団体】全国水産加工業協同組合連合会、一般社団法人大日本水産会、
公益社団法人日本水産資源保護協会、東北六県商工会議所連合会



運 営 「東北復興水産加工品展示商談会2023」運営事務局(株式会社ブレイン内)

I 商談会の特徴

リアル展示商談会

展示ブースで商品PRを行う展示商談
+対面での個別商談



オンライン商談会

オンラインツール(Zoom)を用いた
個別商談

Point1 リアル + オンライン双方のメリットを取り入れた商談会

五感を用いたコミュニケーション効果の高いリアル(対面)商談と、商談場所・時間が自由に設定できるオンライン(非対面)商談の双方を取り入れ、多くの商談機会創出を目指します。

Point2 三陸・常磐の水産加工品等に特化した商談会

被災地域の復興支援・販路開拓を目的に、三陸・常磐の水産加工品等を扱う水産加工事業者等を展覧対象とした展示会であり、バイヤーは“三陸・常磐の水産加工品等”を目的に商談会へ参加・来場をいただくことから、ミスマッチングの少ない、効率的な商談が可能です。

Point3 テーマ毎に専門家を招きセミナーを実施

商品開発のポイント、効果的な商談方法、展示商品の上手な見せ方、水産業界の傾向・トレンドなど、水産加工事業者等の皆様に役立つ内容を、事前～当日(リアル展示商談会)～事後と複数回実施し、これからの販路開拓に活かしていただくべく、セミナーを開催します。

Point4 複数回の商談とサポートで成約アップが期待

オンライン商談会は単に商談の場を設けるだけでなく、希望・必要に応じて複数回(商品紹介→商談)の商談を実施することで、コミュニケーション効果を図ります。さらに、全商談にファシリテーターが同席して商談サポートを行うことで円滑な商談が期待できます。

Point5 相性判断による個別商談会(事前予約制)

本商談会では、できる限りバイヤーの興味を高めるべく、水産加工事業者等の会社・商品情報を細部にまとめ、バイヤーへの提案を行っています。さらに、独自の商談システムを用いて、最終的には専任コーディネーターによる“目視”での商談設定を行ない、相性が良く、丁寧な商談提案を心掛けています。

Point6 水産の“旬”なテーマに触れた商品紹介

SDG's、食品ロス対策、日持ち改善・小分け化、簡便調理などの消費者やバイヤーが求めるニーズに沿ったテーマを設け、バイヤーに向けて商品PRを行う他、展示商談会入口付近には温度帯別の展示コーナーを設置することで、バイヤーへの興味に繋がる適切な商品紹介に努めます。

Point7 各分野のアドバイザーがアドバイス

復興水産加工業販路回復促進センターでは、商品開発や販路開拓などの復興水産販路回復アドバイザー(54名)がおり、事前指導、リアル展示商談会のサポート、個別商談会の同席などの支援を受けることができるため、商談や展示会に不慣れな方でも安心してご参加いただけます。

II 参加にあたってのアドバイス



商談・出展計画を明確にたてましょう

自社が獲得したいバイヤーはどの業種か、獲得したいバイヤーにはどのように訴求すべきか、自社商品の魅力・差別化はどこかなどを明確にして出展に臨みましょう。さらに、商品の見せ方はどうするか、配布物・掲載物は何を準備するか、試食はどのように・どれだけ準備すべきかなども明確にしておきましょう。

※できるだけ具体的なイメージと準備をもってご参加ください。不安な場合は、復興水産販路回復アドバイザーの活用もご検討ください。



できる限り沢山の商品をご提供ください

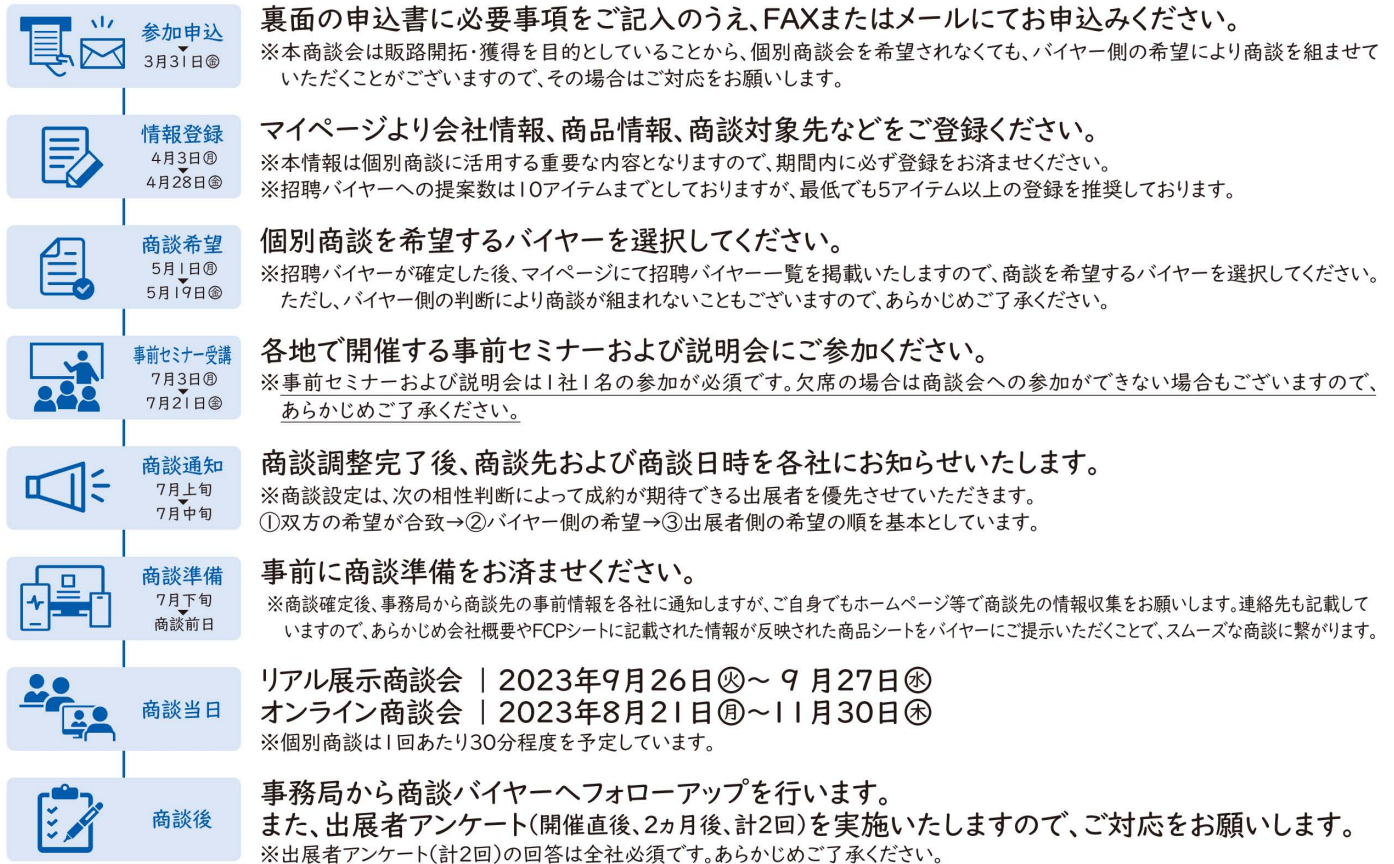
バイヤーの興味・業態は様々であることから、主力商品以外の商品がきっかけとなって成約に至るケースも多数あります。テーマ性はできるだけまとめつつも、主力商品に限らず、複数ご提案ください。展示会ホームページでも広くご紹介いたしますので、できる限り商品登録をお願いします。



商談バイヤーには必ずフォローアップを行いましょう

リアル展示商談会は9月、オンライン商談会は11月に終了します。年末商戦等で忙しくなる時期ですが、商談したバイヤーへのフォローアップは必ず実施してください。特に、バイヤーから希望があった場合の見積提示、サンプル発送などは、できるだけ時間を置かず、コンタクトを継続して、バイヤーとの適切な関係構築を図りましょう。

III 商談会参加の流れ



※スケジュールはあくまでも予定です。状況に応じて前後する場合もございますので、あらかじめご了承ください。

IV リアル展示商談会ブース仕様



※イメージ図

基本仕様 1社(ブース)=幅3.0m×奥行2.0m

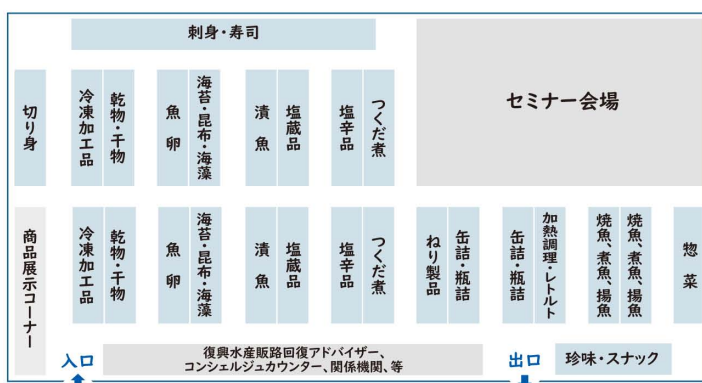
付帯設備

- 壁面パネル(背面、およびブースが隣接する側面)
- 社名プレートW1,800×1枚
- コンセント100V 2口
- テーブルW1,800×1台
- イス×2脚

オプション設備

有償
※ 付帯設備を除く備品は有償となります。

V 商品カテゴリ別ブース配置



※イメージ

本商談会では、商品カテゴリに区分けしたブース配置を行います。

この配置方法により、

- バイヤー側：商品を探しやすい、
 - 出展者側：売り込みたいバイヤーに訴求しやすい、
- といった効果が期待できると考えております。

なおブース位置は主催者の判断により決定されます。発表後の移動は致しかねますのであらかじめご留意ください。

東北復興水産加工品展示商談会2023出展申込書

申込日

2023年

月

日 ()

出展形態

☐ リアル展示商談会※

☐ オンライン商談会

※1 個別商談会への参加も必須です。

※2 バイヤーの希望に応じてオンライン商談が組まれる場合もございますので、その際は必ずご参加をお願いします。

ふりがな

事業者名

代表者

担当者

部署:

役職:

氏名:

〒

-

住所

電話番号

-

-

FAX番号

-

-

E-mail

@

携帯番号

-

-

主な取扱製品

確認欄

☐ 「Ⅲ.商談会参加の流れ」「Ⅳ.リアル展示商談会ブース仕様」
「Ⅴ.商品カテゴリ別ブース配置」について承諾しました。

申込先

「東北復興水産加工品展示商談会2023」運営事務局(株式会社ブレイン内)
担当:山下、浅野、武川(ぶかわ)、菊池 電話:022-344-6602

FAXでお申し込みの場合は

☎022-344-9315

メールでお申し込みの場合は

✉ suisan-kakou@tohokusuisan.jp

事務局欄	受領日	受領方法	登録完了日	対応者
	月 日	FAX ・ メール	月 日	